

## 令和7年度 東京都立墨田川高等学校 学校経営報告

[文中にパーセンテージで示した数値は、特に断りのない場合は、学校評価アンケートにおいて「そう思う」「だいたいそう思う」と肯定的に回答した生徒の割合を合計したものである。]

### ▼ 令和7年度 of 取組目標等における自己評価と次年度以降の改善の方向性

#### (1) 学習指導

- 予習や復習を前提とした「学習のサイクル」に「自発的学習」を加えた「学びのサイクル」の定着は44.5%と目標値に近づきつつある。これは、「墨田川の授業は、進学や受験に役立つ内容になっているものが多い」と回答する生徒の割合が81.1%と目標値を超えたことから、生徒の学びに対する意欲が高まりつつあることが伺える。引き続き主体的な学習を促す工夫に向けて授業改善を継続する必要がある。
- 習熟度別授業や少人数指導、長期休業中の講習等の充実を図ったことにより、大学入学共通テスト得点率7割以上の3年次生徒数は62名と目標値を上回った。
- 生徒の知的探究意欲向上のため、千葉大学との連携による大学訪問や模擬講義等を実施するなど「総合的な探究の時間」を充実・発展させることができた。また、進路行事や選択科目説明会等と効果的に関連させながら、生徒の学問的興味・関心と進路意識を相乗的に発展させるよう工夫した。
- 英語4技能伸長に向け、都教育委員会の事業を活用して英検全員受験を実施し、資格取得に向けた指導を充実させるとともに、大使館訪問や留学生との交流会、8月にはシンガポールにおける海外姉妹校交流などの国際教育プログラムを実施することができた。

(主な数値目標) (アンケートの数値は「そう思う」「だいたいそう思う」と肯定的に回答した生徒の割合)

項 目	6年度実績	7年度目標	7年度実績
学校評価アンケート①で「墨田川の授業は、進度やレベルが生徒によく合っていて学力向上につながるので満足している」とする生徒の割合	72.6%	80%以上	72.8%
学校評価アンケート②で「墨田川の授業は、進学や受験に役立つ内容になっているものが多い」とする生徒の割合	78.0%	80%以上	81.1%
学校評価アンケート④で「私は、予習→授業→復習の『学習サイクル』に『自発的学習』を加えた『学びのサイクル』が定着している」とする生徒の割合	37.8%	50%以上	44.5%
大学入学共通テストで7割以上得点した3年次生の人数	54名	60名以上	62名

#### (2) 進路指導

- 進路指導部や年次担任が連携し、面談週間やケース会議等を活用し、最後まで諦めさせない指導や出願指導等を継続したが、国公立大学、難関私立大学及びGMARCHの現役合格は目標値に届かなかった。この結果を分析し、次年度の指導に生かす必要がある。

- 長期休業中、放課後、土曜日を活用した講習、補習等を91講座開講し、受講生徒延べ約3130名に達した。都教育委員会による「校内予備校」は英語、数学、国語の3教科で23講座を開講し、受講応募者延べ687名であった。特に、実用英語検定取得に向けた講座を3講座開講し、準1級取得を目標とする講座にも46名が受講したことは大きな成果である。次年度以降も、進路指導部のみならず英語科において英語資格取得が大学入試において大きな効果があることを周知し、受講者数及び上位資格取得者数の増加を図る。
- 大学入試説明会や大学模擬講義等の進路行事、選択科目説明、面談週間など進路意識の高揚を図る取組を推進した。目標値には届かなかったものの「進路を考える際に必要な情報を生徒や保護者に適切に提供している」では80%を超えることができた。
- 探究推進部を設置して3年目となり、千葉大学との連携による大学訪問や「職業人インタビュー」を実施し、千葉大学等の教授による講演や指導・助言やティーチングアシスタントのサポートにより、探究活動の満足度は目標値を上回ることができた。
- 海外学校間交流推進校の指定による、大使館訪問や千葉大学の留学生との交流会、講演会等の国際教育を積極的に展開し、8月にシンガポール海外研修旅行を企画・実施し、現地の姉妹校との交流、国立シンガポール大学見学、現地大学生との交流等を実施した。また、帰国後には、七高祭や前期終業式、学校説明会等の機会を活用して研修成果を報告する機会を設け、英語によるプレゼンテーション技能を育成した。次年度以降も継続して国際教育を積極的に推進し、英語4技能のさらなる向上を図っていく。

(主な数値目標) (アンケートの数値は「そう思う」「だいたいそう思う」と肯定的に回答した生徒の割合)

項 目	6年度実績	7年度目標	7年度実績
国公立大学(大学校含む) 現役合格者数	19名	30名以上	20名
難関私立大学(早慶上理) 現役合格者延べ数	25名	30名以上	24名
私立大学(GMARCH) 現役合格者延べ数	101名	100名以上	73名
学校評価アンケート⑦で「墨田川は、進路を考える際に必要な情報を生徒や保護者に適切に提供している」とする生徒の割合	79.0%	85%以上	80.2%
学校評価アンケート⑥で「墨田川では、探究活動などで生徒が将来の自分の生き方について主体的に考えるよう指導している」とする生徒の割合	67.3%	70%以上	73.4%
学校評価アンケート⑮で「墨田川は、国際教育の推進に力を入れている」とする生徒の割合	58.1%	60%以上	69.1%

### (3) 生活指導・特別活動

- 生徒の学校生活満足度、学校行事満足度及び部活動等の満足度は、いずれも目標値を超えることができた。今後も特色化を図るとともに、学習との両立に向けた指導を推進する。
- 生活指導の徹底に関する肯定的回答は、生徒85.9%と目標値を上回ったが、生活指導の理解や納得に関する肯定的回答は、昨年度と変わらず生徒52.3%と目標値よりも約20ポイント以上の差異があった。生徒が生活のルールを理解して、自律的に行動できるよう拡大生活指導部会の協議を通して、組織的な生活指導に取り組む。

(主な数値目標) (アンケートの数値は「そう思う」「だいたいそう思う」と肯定的に回答した生徒の割合)

項 目	6年度実績	7年度目標	7年度実績
学校評価アンケート⑩で「墨田川での学校生活は充実している」とする生徒の割合	86.2%	85%以上	86.4%
学校評価アンケート⑭で「墨田川では、学校行事や生徒会、部活動等で、生徒による自主的・自発的活動が行われている」とする生徒の割合	86.4%	85%以上	87.8%
学校評価アンケート⑨で「墨田川では、服装、遅刻、挨拶、登下校時の時のマナー等の生活指導が徹底されている」とする生徒の割合	77.3%	85%以上	85.9%
学校評価アンケート⑩で「墨田川の生活指導は、生徒の理解や納得が得られている」とする生徒の割合	52.3%	75%以上	52.3%
学校評価アンケート⑭で「墨田川は、体育祭や七高祭などの学校行事が活発で充実している」とする生徒の割合	91.5%	85%以上	91.4%
学校評価アンケート⑬で「墨田川は、部活動が活発で充実している」とする生徒の割合	84.6%	85%以上	87.9%

#### (4) 健康・安全教育指導

- 相談体制に関する肯定的回答は、目標値を上回ることができた。また、ケース会議では、生徒情報を全職員で共有する取り組みを行ったことにより、支援を要する生徒の困り感に応じた支援ができた。さらに、特別支援に関する委員会を開催することで、必要な支援策を検討・提案することができた。

(主な数値目標) (アンケートの数値は「そう思う」「だいたいそう思う」と肯定的に回答した生徒の割合)

項 目	6年度実績	7年度目標	7年度実績
学校評価アンケート⑪で「墨田川では、教員やスクールカウンセラーなど悩みを相談できる相手や機会が適切に備わっている」とする生徒の割合	72.5%	75%以上	77.2%

#### (5) 生徒募集・広報活動

- 中進対第一志望調査の志望予定者数は、1.0倍まで回復はしたが、目標の志願者数を達成できなかった。また、学校説明会等の参加数は、昨年度を上回ったが目標値には届かなかった。これは、11月に開催した学校説明会では参加者が減少した傾向から、早期に志望校を決定する傾向にあるとともに、私立志向の社会情勢による影響が考えられる。
- 推薦に基づく選抜の応募人員及び学力検査に基づく選抜の最終応募人員は、昨年度よりは、増加したものの目標値を上回ることができなかった。中学生等の個人別来校時期や回数等の調査結果等を分析し、進学重視型単位制高校及び進学指導推進校の特長をより効果的に発信し、第一志望生徒の増加を図る。
- 今年度、学校見学会、学校説明会及び自校作成問題対策会等を活用し、自校作成問題のねらいや効果を積極的にPRしたが、昨年度よりは希望者は増加したものの大きな増加にはつながらなかった。今後も粘り強く広報活動を継続し、本校の魅力を発信していく。
- 学校ホームページの更新回数は473回で、昨年度より更新回数が大幅に増加し、部活動紹介が充実するなど「学校公式ホームページが充実している」の肯定的回答は生徒70%を超えた。

(主な数値目標) (アンケートの数値は「そう思う」「だいたいそう思う」と肯定的に回答した生徒の割合)

項 目	6年度実績	7年度目標	7年度実績
東京都中学校長会進路対策委員会による志望予定 (第1志望) 調査の志望者数	284名	360名	324名
推薦に基づく選抜応募倍率	1.81倍	3.00倍	2.41倍
学力検査に基づく選抜最終応募倍率	1.10倍	1.30倍	1.17倍
学校見学会、学校説明会、自校作成問題関係、夏季 休業中の学校見学会、放課後の学校説明会、塾対象 説明会での来校中学生・保護者・教員等の参加組数	3478組	3800組	3656組
学校評価アンケート⑩で「墨田川高校の公式ホーム ページは充実している」とする生徒の割合	66.2%	85%以上	70.2%

## (6) 学校組織運営

- 学習環境 (学校施設) に関する満足度は85.5%と目標値を超えることができた。早朝から放課後まで利用できる「図書室、自習スペース」によるものと推測される。
- 保護者のライフ・ワーク・バランスの認知度は、昨年度比約5ポイント上昇した。教員の実現度は昨年度比約8ポイントの上昇にとどまったが、「墨田川の教員生活は充実している」は20ポイント以上、上昇し目標値を上回ることであった。引き続き、教職員が意欲をもって働ける職場環境作りをしながら、教育活動の充実と生徒の進路実現を図る。
- 服務事故防止研修を3回実施するとともに、時機に応じた事故事例の紹介等により、教育公務員としての服務の厳正と体罰や服務事故の根絶を目指す指導を行うことができた。
- 今年度、職員会議資料に加え成績会議資料のペーパーレス化に取り組んだことで業務の軽減と効率化が進み、会議時間及び会議準備時間の縮減を図ることができた。
- トイレ改修工事第二期 (各階女子トイレ) は、教育庁の設計変更のため延期となった。よって、喫緊の課題である空調設備の更新 (個別空調化) を優先し、令和7年度に設計、令和8年度に空調工事の実施となった。令和8年度以降、更新工事を計画的に進行管理するとともに、安全に配慮をしながら教育活動を維持する必要がある。

(主な数値目標) (アンケートの数値は「そう思う」「だいたいそう思う」と肯定的に回答した生徒、教職員、保護者の割合)

項 目	6年度実績	7年度目標	7年度実績
学校評価アンケート⑩で「墨田川は、教室、特別教室、 体育施設、図書館、自習スペース等の学習環境が 整っている」とする生徒の割合	84.1%	85%以上	85.5%
学校評価アンケート⑩で「計画的な仕事の進め方により 業務の効率化を図り、ワーク・ライフ・バランスの 実現に取り組んでいる」とする教職員の割合	47.7%	75%以上	55.2%
学校評価アンケート⑫で「墨田川の教員生活は充実 している」とする教職員の割合	58.5%	75%以上	79.1%
学校評価アンケート⑫で「墨田川は、教員の働き方 改革に取り組んでいることを知っている」とする保 護者の割合	41.0%	75%以上	45.6%

以上